

[株式会社綾野製作所・キッチンキャビネット]

商品マニュアル



※お読みになったあとは大切に保管し、必要なときにお読みください。

このたびは弊社商品をお買い上げいただき、まことにありがとうございました。製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店様までお尋ねください。
組立・設置の前に必ず「安全上のご注意」及びこの「商品マニュアル」をお読みのうえ、正しくお使いください。

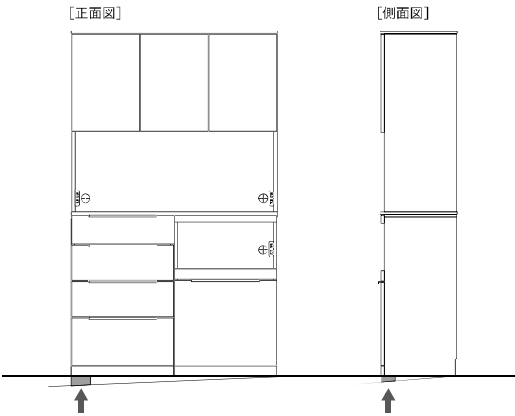
設置について キャビネット設置時の水平調整

キャビネット設置時には家具が水平になるように調整をおこなう必要があります。

設置する場所によっては微妙な傾斜がありますので、家具にねじれが発生し扉や引出しの隙間が揃わない場合がございます。

設置した際に扉や引出しの隙間が大きく出ている場合には、床面の傾斜が大きい可能性があるので、家具が水平になるように調整をおこなってください。

調整には[硬い板材]や[紙]などを使用してください。
必ず2人以上で作業をおこなってください。



連結方法 上置・フィラー

上置の連結方法

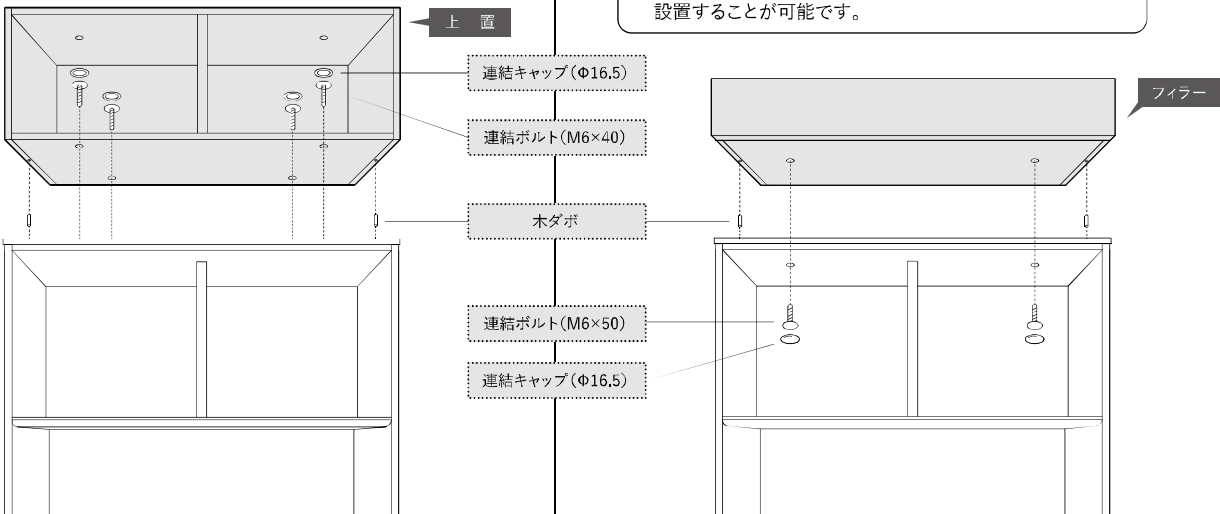
- 上キャビネットに[木ダボ]を差し込み、上置をのせます。
- [連結ボルト]を上置から上キャビネットに差し込み、ドライバーでしっかりと締め付けます。
- [連結ボルト]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。

フィラーの連結方法

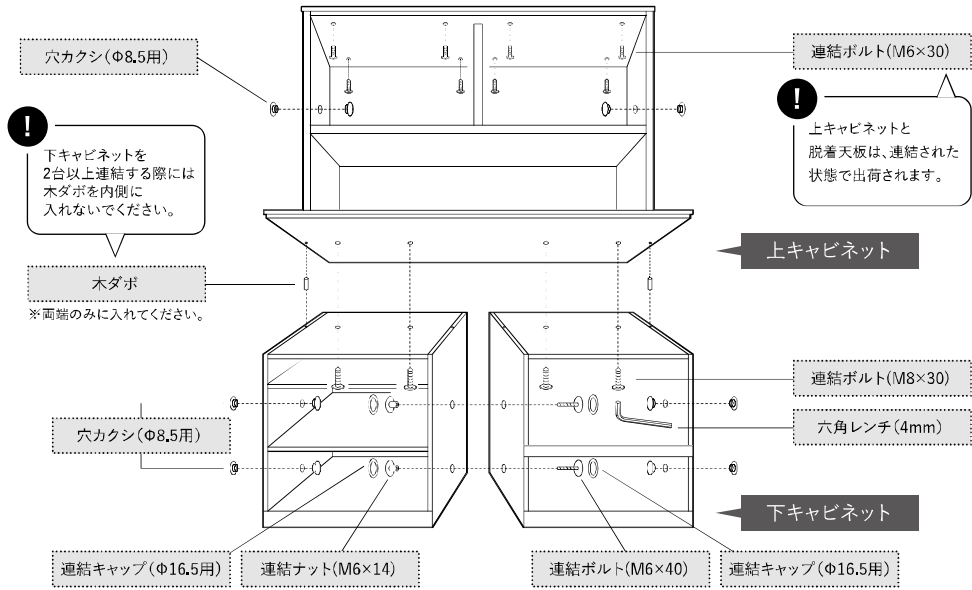
- 上キャビネットに[木ダボ]を差し込み、フィラーをのせます。
- 下から[連結ボルト]をドライバーでしっかりと締め付けます。
- [連結ボルト]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。

ロータイプ上置の場合も同様の作業をおこなってください。

フィラーは上キャビネットと上置のどちらの上にも設置することが可能です。



連結方法 上下キャビネット[カウンター天板一体式構造]



左右キャビネットの連結方法

- 左右のキャビネットを、連結穴の位置が合うようにセットします。
- [連結ボルト]と[連結ナット]を左右から取り付けて、ドライバーでしっかりと締め付けます。
※連結がしづらい時は引出しを取り外してください。
※引出しの取り外し方は「引出しの取り扱い方法」をお読みください。
- [連結ボルト]と[連結ナット]の頭部に[連結キャップ]を取り付けます。
- 連結の必要がない連結穴には[穴カクシ]を取り付けます。

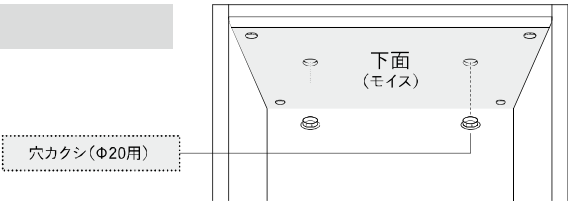
上下キャビネットの連結方法

- 下キャビネットの両側に[木ダボ]を差し込みます。
※2台以上の下キャビネットを組合わせる場合は両端部のみに差し込んでください。
- 下キャビネットの[木ダボ]に合わせて上キャビネットをのせます。
- 下キャビネットの引出し(上段)を取り外した後に[連結ボルト]を[六角レンチ]でしっかりと締め付けます。
※引出しの取り外し方は「引出しの取り扱い方法」をお読みください。

下キャビネットモイス面に穴カクシの取り付け

下キャビネットに、モイスが付いている家電収納タイプをお選びの場合は、カウンター天板の連結後、モイス面に[穴カクシ]を取り付けてください。

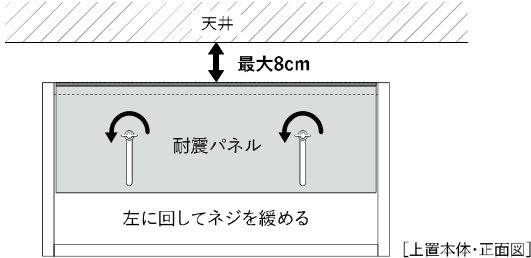
[40幅は1箇所・50～80幅は2箇所]



取り扱い方法 耐震パネル付き上置

耐震パネルの解除

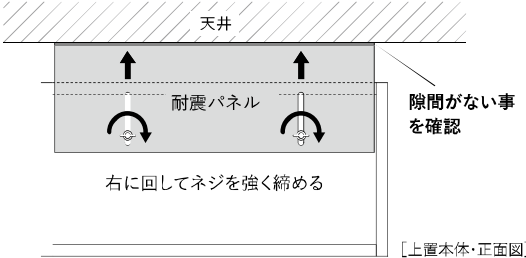
ネジを左に1～2回まわし、耐震パネルがスライドできるまで緩めます。
※耐震パネルと天井との隙間は最大8cmまでです。



1週間後に耐震パネルと天井との間に隙間がないか、ネジが緩んでいないかの点検をお願いします。
安全のため、1年ごとの点検をおすすめします。

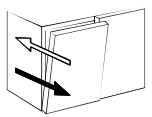
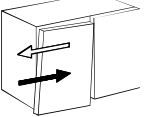
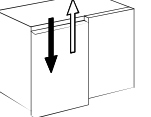
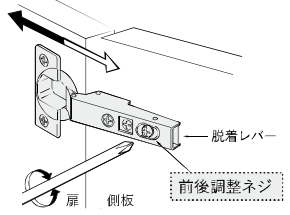
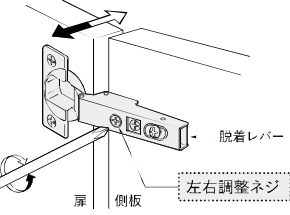
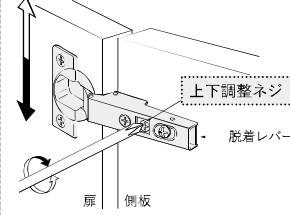
耐震パネルの設置

耐震パネルを天井までスライドさせます。
天井に左右均等に突っ張らせ、耐震パネルの間に隙間がない事を確認し、ネジを右に回して強く締め付けます。

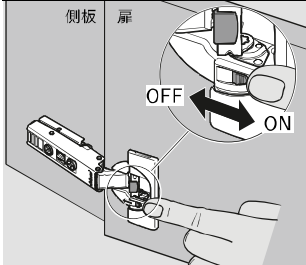


開き戸蝶番の調整方法

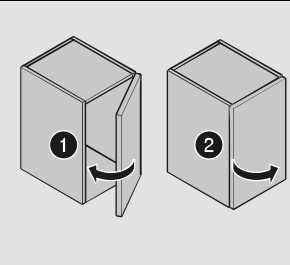
！ 開き戸の蝶番にはアルミフレームと板扉共に、[ブルム社製]を使用しています。下図を確認のうえ、対応した調整をおこなってください。

扉の前後調整方法	扉の左右調整方法	扉の上下調整方法
 調整可能範囲 ±2mm	 調整可能範囲 ±2mm	 調整可能範囲 ±2mm
 ① [前後調整ネジ]をゆるめます。 ② 扉を前後に動かします。 ③ [前後調整ネジ]をしめます。	 ① [左右調整ネジ]をまわして扉の位置を調整します。	 ① [上下調整ネジ]をまわして扉の位置を調整します。 ※ネジは扉のスレ防止のため固くなっています、大きめのドライバーで調整をおこなってください。

板扉用蝶番 ソフトクローズ機能のON/OFF調整方法



ソフトクローズ機能のON/OFF方向



扉の開閉

板扉用蝶番のみの機能です。アルミフレームには付属しておりません。
出荷状態はOFFになっています。
扉の閉まる速度が気になる方は調整してください。

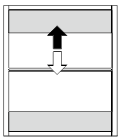
- ・扉側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能ON
- ・側板側にスイッチを動かすとソフトクローズ機能OFF
- ・スイッチを切り替えた後、扉を一度開閉してください。機能が切り替わります。
- ・蝶番を2つともにONにすると強力に効果を発揮します。まずは1つを調整して検証してみてください。

[木製クワドロ引出し]

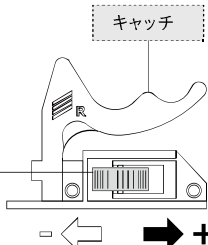
微調整方法

キャッチには、前板の微調整機能があります。
キャッチにあるダイヤルを回すと、左右それぞれ必要に応じて、前板を上上げることができます。

※この調整は、レールと引き出し底板との間にクサビを差し入れる構造のため、前板を下に下げることではできません。

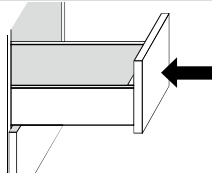


ダイヤル
※マイナス方向へのダイヤル操作は微調整した前板を元の位置に戻す際に使用します。



【図は右用です。左用は逆向きになります。】

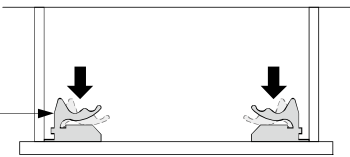
引出しの取り付け方法



引出しは、キャッチを使用して簡単にレールに取り付けることができます。
取り外した引出しをレールに乗せて押し込みます。その際に『カチッ』と音がするまで押し込んでください。正常に取り付けされていない状態で使用すると、引出しが脱落する恐れがあります。

取り外し方法

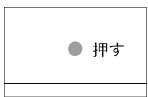
キャッチには引出しを取り外す機能があります。引出しをレールから取り外す際は、左右のキャッチに指をかけて、まっすぐ引いてください。



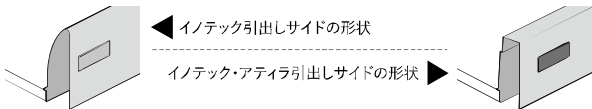
【引出しの裏面左右にキャッチがあります。】

プッシュオープン引出し

プッシュオープン機能付きの引出しは、図を参考に前板中央付近を押して使用してください。



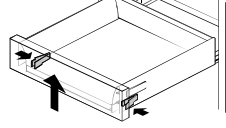
[イノテック引出し]と[イノテック・アティラ引出し]



※イラストは前板を外した状態です。※以下の説明イラストはイノテック引出しで説明していますが、取り扱い方法は同じです。

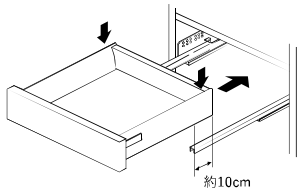
引出しの取り外し方法

- ① 引出し側板下部の樹脂レバーを内側に押したまま引出しの本体を上を持ち上げます。



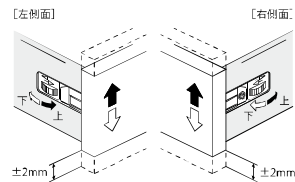
引出しの取り付け方法

- ① 引出し本体の後部をスライドレール前方にのせて押し込みます。



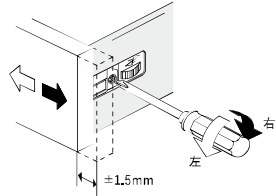
前板の上下調整

- ① 引出し側面のカバーを外します。
- ② 図を参考に歯車を前後に回して調整します。



前板の左右調整

- ① 引出し側面のカバーを外します。
- ② プラスドライバーでビスを回して調整します。(引出し側板の右側のみ)

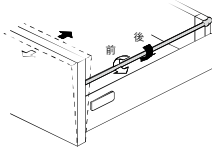


前板の前後調整

※イノテック引出しとイノテック・アティラ引出しの取り付け方法は異なります。

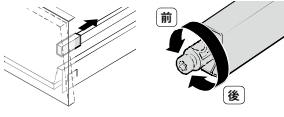
イノテック引出しの場合

- ① サイドバーを左右に回して調整します。(サイドバーを使用している引出しのみ)



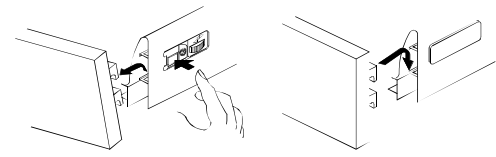
イノテック・アティラ引出しの場合

- ① 縦バーのカバーを後方にスライドさせます。
- ② 縦バーの穴にドライバー等を差し込んで回し、調整します。



前板の脱着方法

- ① 引き出し左右側面のカバーを外し、青いボタンを押したまま前板のみを上押しして外します。
- ② 図の位置に前板を上から差し込み、押し下げます。



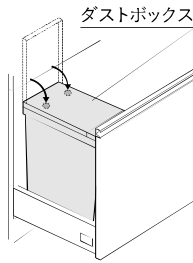
取り扱い方法 ドアバンパーの貼付け

衝撃を抑えるために、下図を参考にドアバンパー(透明なクッション材)を貼付けてください。 ※貼付場所のほこりを拭き取ってから貼付けてください。

- ① ダストボックスの入っている引出しを一番手前まで出します。

- ② ダストボックスの蓋を開けて上段引出しの前板と接触する場所を確認します。

- ③ 接触する場所に2箇所貼付けます。

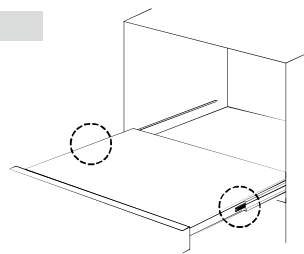
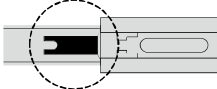


取り扱い方法 スライドテーブル

スライドテーブルの取り外し方法

レールの両サイドに付いているレバーを押したまま引き出しを水平に引き抜きます。

[レール拡大図]



取り扱い方法 チップオン(プッシュラッチ)

扉は軽く押すだけで簡単に開き、適度な角度まで開いて止まります。

扉を押しても開かない場合は、チップオンを左右に回して調整してください。面付けと埋込み式の2種あります。

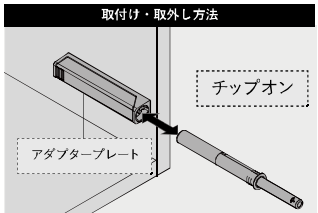
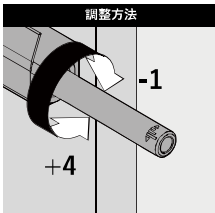
下図は面付けの図ですが、埋込み式も同様の調整方法です。

・左に回すとチップオンが前に出てきます。

・右に回すとチップオンが引き込まれます。

・調整は+4 / -1 mmの範囲で可能です。

・チップオンをアダプタープレートに取付け、取外しができます。



※似たような機構でダンパータイプ(ソフトクローズ機能)のものもあります。そちらには調整機能はありません。不具合の場合は、引き抜いて交換してください。